

衆議院外務委員会ニュース

平成 28.10.26 第 192 回国会第 2 号

10月26日(水)、第2回の委員会が開かれました。

1 国際情勢に関する件

- ・岸田外務大臣、岸外務副大臣、若宮防衛副大臣兼内閣府副大臣、小田原外務大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行いました。

(質疑者及び主な質疑内容)

鈴木隼人君(自民)

- ・我が国とフィリピンとの二国間関係に関する今後の方向性について伺いたい。
- ・フィリピンにおける麻薬犯罪の取締りに関し人権状況が懸念される中、同国に対し経済協力を実施することに人道上の問題は存在しないのか。
- ・南シナ海における法の支配の徹底について、我が国として、今後どのような方針で取り組んでいくのか。

岡本三成君(公明)

- ・プーチン大統領の訪日に向けた準備の一環として岸田外務大臣がロシアを訪問する際に、同大統領に対し広島訪問を正式要請すべきと考えるが、岸田外務大臣の所感を伺いたい。
- ・オバマ大統領の広島訪問を受けて、我が国の政府首脳が米国の真珠湾への訪問・献花を行うことが望ましいと考えるが、岸田外務大臣の同地訪問についての考えを伺いたい。
- ・米国における次期大統領の選出のタイミングで外務大臣が訪米し、オバマ大統領に対し被爆地訪問の意義を次期大統領へ進言するよう提案すべきであると考えているが、岸田外務大臣の所見を伺いたい。

原口一博君(民進)

- ・北方領土交渉における「新しいアプローチ」が1993年の「東京宣言」を反故にするものではないことを確認したい。
- ・TPP協定のISDS条項によって我が国の共済事業が提訴対象となる可能性は排除できないのではないかと。
- ・我が国がTPP協定を「重要な外交的・戦略的」と位置づける一方、我が国の重要な外交パートナーである米国の次期大統領候補が共に反対していることに対する岸田外務大臣の見解を伺いたい。

吉良州司君(民進)

- ・ドゥテルテ・フィリピン大統領の中国での対米・南シナ海に関する発言について岸田外務大臣の所見を伺いたい。
- ・ユーラシア大陸を覆うような枠組み形成しつつある上海協力機構に対し、我が国は、地政学を念頭に置いた上で、どういった外交を展開する方針であるか。
- ・太平洋及び大西洋に面し、自由経済を志向するコロンビアをAPEC及びTPP協定の枠組みに引き込むメリットをどのように考えるか。

笠井亮君(共産)

- ・平成28年10月25日の記者会見で南スーダンの治安が悪化していることは事実であるとする稲田防衛大臣の発言に対する岸田外務大臣の認識を伺いたい。
- ・国際連合南スーダン共和国ミッション(UNMISS)に自衛隊を派遣する根拠となった国連決議は何であるか。
- ・自衛隊をUNMISSから即刻撤退すべきとの意見に対する岸田外務大臣の見解を伺いたい。

小熊慎司君(民進)

- ・中長期的観点から質・量ともに外交力を強化するための具体的な方策について伺いたい。
- ・安倍総理は、ドゥテルテ・フィリピン大統領との会談において、同国の麻薬犯罪対策への人権及び法の支配の観点からの懸念等に関し、提案型で意見を述べる必要があると考えるが、岸田外務大臣の所見を伺いたい。
- ・東日本大震災による東電原発事故の風評被害地における訪日外国人数の減少に対処するため、海外メディアによる日本特集番組支援について、当該地域の旅行番組等の映像化を図っていく必要があるのではないかと。

足立 康 史君（維新）

- ・日本と他国の二つのパスポートを有する者が日本への出入国時には日本の、第三国への出入国時には他国のパスポートを使用することは可能か。
- ・国会議員や国益に関わる国家公務員の国籍について、外務公務員並みの義務を課す必要があると考えるが岸田外務大臣の見解を伺いたい。
- ・北方領土問題は解決に向けて二国間の交渉に進捗が見られるのに対し、竹島及び尖閣諸島における領土問題は膠着状態で停滞している現状についての岸田外務大臣の見解を伺いたい。

玉 城 デニー君（自由）

- ・本来、米軍人による犯罪から沖縄の住民を守るために派遣された防衛省職員や警察官が、米軍基地施設の建設に反対する住民の取締りに転用されていることはないのか。
- ・沖縄県東村高江のヘリパッド建設に反対する住民と沖縄県外から派遣されている機動隊との軋轢について、岸田外務大臣はどのように考えているのか。
- ・陸上自衛隊木更津駐屯地でのオスプレイ共通整備基盤について、地元自治体への説明や騒音測定に関する日米間の協議はどのように執り行っているのか。